

事務機械の「全世界出荷に関する 2012 年の見込み
及び 2013 年・2014 年の予測」の発表

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長：内田 恒二／キヤノン株式会社 相談役 前代表取締役社長）は、この度、全世界市場を対象に新たに事務機械の出荷に関する見込み及び予測をとりまとめましたので発表致します。

なお、この出荷見込み及び予測の調査にあたっては、外部の調査機関に委託し取りまとめを行いました。ホームページに掲載しています事務機械出荷実績（JBMIA集計）、複写機・複合機出荷実績（JBMIA集計）は、会員企業の出荷実績のみであることから、今回の予測に用いている数値とは異なりますのでご注意ください。

2012 年出荷見込み

国 内：	4, 7 8 0 億円（前年比：101.8%）
海 外：	1 2, 4 3 8 億円（前年比：94.0%）
総出荷：	1 7, 2 1 8 億円（前年比：96.0%）

2013 年出荷予測

国 内：	4, 7 4 4 億円（前年比 99.2%）
海 外：	1 2, 2 5 7 億円（前年比 98.5%）
総出荷：	1 7, 0 0 1 億円（前年比 98.7%）

2014 年出荷予測

国 内：	4, 6 9 8 億円（前年比 99.0%）
海 外：	1 2, 1 2 9 億円（前年比 99.0%）
総出荷：	1 6, 8 2 7 億円（前年比 99.0%）

(1) 概況

2012 年の事務機業界は、国内市場は、長引く景気停滞を背景に企業の投資抑制の動きが続いたことや法令改正・政策等の特需要因も少なかったものの、一部の品目では東日本大震災の影響を受けた前年からの反動による出荷台数・金額の増加がみられ、全体として出荷金額は微増が見込まれる。

海外市場は、欧州不況の長期化とその影響を受けた中国市場の減速等により多くの品目の出荷金額の減少が見込まれる。

2013 年以降、国内市場は、多くの企業が成長の見込める新興国市場への投資を進める一方で国内への投資には消極的な動きを継続していくとみられ、また一部の品目では 2014 年の消費税率の引き上げによる特需や駆け込み需要の期待もあるが、その効果は限定的と見られることから、出荷金額は微減傾向が続くと予測される。

海外市場は、2012 年に比べると各国の政治・経済のリスク要因は小さくなると期待されるが、世界的な需要減を背景に先進国での投資は当面抑制的に推移していくとみられ、また出荷増が期待される新興国も低価格製品が多いため全体の金額を押し上げるまでには至らず、出荷金額は微減傾向で推移していくと予測される。

(2) 品目別予測

①複写機・複合機

2012 年の国内市場は、東日本大震災とタイの洪水による部品不足による影響を受けた 2011 年からの反動もあり、前半まではモノクロ機、カラー機ともに堅調に推移した。後半以降はモノクロ機の台数ベースでは減少傾向となるものの、1 年トータルではモノクロ機が台数微減・金額増加、カラー機が台数・金額とも増加すると見込まれる。

海外市場は、年後半に中国での日本製品不買運動の影響が一部あったものの、全体的には新興国需要が堅調に推移したことで、モノクロ機は台数では大幅な増加が見込まれる。カラー機は先進国を中心に前半までは堅調に推移し、後半以降にやや失速したものの、1 年トータルの台数では増加見込まれる。

2013 年以降の国内市場は、カラー比率は約 70%まで高まっており、今後もカラー機中心の出荷が続くと予測される。ただし、国内市場はリプレース中心の市場であり、リプレースのサイクルは年々長期化する傾向がみられるため、全体の出荷台数・金額の大幅な増加は期待できないと予測される。

海外市場は、欧州経済の先行きが不透明であるものの、各国の政治・経済のリスク要因は比較的小さく、新興国でのモノクロ機需要、先進国でのカラー機需要により台数では増加傾向で推移していくものと予測される。

ただし、成長市場である新興国市場では低価格の A4 複合機が売れ筋となっており、中国やインドでは中古の A3 複写機・複合機の流通が活発化しているため、複写機メーカーのコア製品である A3 複写機・複合機市場の成長は限定的となる。

また、欧米市場は日本ほどカラー比率が高くないため、今後はモノクロ機からカラ

一機へのリプレースが進んでいくと予測されるが、世界的な需要減を背景とした投資抑制の動きやリプレースサイクルの長期化により、伸び率は緩やかなものと予測される。

複写機・複合機の製品傾向は、先進国向け製品ではクラウドサービスやモバイル端末との連携強化や定着装置の省電力化が進められる一方で、新興国向け製品では機能を絞り込んだ低コスト製品の開発が進められている。

②ページプリンタ

2012年の国内市場はリプレース中心の市場であるため、モノクロ機・カラー機とも金額は減少すると見込まれる。

海外市場は、先進国においてはローエンドを中心にページプリンタ市場が急速に成熟しつつあり、モノクロ機、カラー機のコストは減少、成長市場である中国でも複合機モデルが売れ筋となっており、プリンタ単機能モデルの伸び率は緩やかとなりつつあるため、モノクロ機、カラー機ともに金額は減少すると見込まれる。

2013年以降の国内市場はセンターマシンである A3 複合機への集約や低価格の A4 複合機との入れ替えが一部で進む一方、オフィスでのプリンタ単機能ニーズも根強く存在するため、モノクロ機、カラー機ともに年率 1～3%と比較的緩やかな減少が続くと予測される。

海外市場は、欧米や中国といった主力市場の政治・経済のリスク要因は小さいものと考えられることから、カラー機については回復していくものとみられるが、モノクロ機については A4 複合機の普及が広がっていることもあり、減少傾向で推移すると予測される。

ページプリンタの製品傾向は、モバイル端末との連携強化や本体の小型化のため露光ユニットに LED を採用する動きなどが広がりつつある。

③データプロジェクタ

2012年の国内市場は、文教向けや公共施設向けの案件が若干増えたものの、企業向けでは不透明な経済状況を背景に企業の投資抑制が続いたため、全体では台数、金額とも減少すると見込まれる。

海外市場は、欧州の景気後退の影響を受け、世界最大の市場である中国市場が減速したことや、中国での日本製品の不買運動の影響もあり、低価格品の出荷を中心に数量が伸び悩み、海外では文教向けが企業向けと並ぶ市場規模を持ち、文教向けは景気停滞にも強いと言われてきたが、2012年に関しては企業向け、文教向けともに伸び率が低下し、台数増加、金額減少が見込まれる。

2013年以降の国内市場は、企業向けは現状レベルで推移していく。文教向けでは一部の自治体で超短焦点プロジェクターの導入が進みつつあるが、全体の数量を押し上げるには至らない。台数で微減から横這い、金額では微減で推移していくと予測される。

海外市場は、企業向けは景気回復次第の面があるものの、欧米市場は経済的に安定

してくるものと期待され、また中国及び新興国需要は底堅く推移していく。さらに文教向けでは、景気対策として学校への投資が行われることも多く、企業向けよりも安定していることから、回復の期待が強く、台数・金額とも増加傾向で推移すると予測される。

④電卓&電子辞書

●電卓

2012年の国内市場は、個人向け需要は減少しているものの、ビジネス向け機種等が比較的堅調で台数・金額ともほぼ前年並みを維持すると見込まれる。

海外市場は、欧米は学生（大学生、高校生）が授業で使用する関数電卓の市場が確立され、需要は底堅いが、低価格製品が主流となっており、台数・金額とも減少すると見込まれる。

2013年以降は、国内市場、海外市場ともにビジネス向け製品や海外の低価格製品を中心とした根強い需要が続くが、主だった増加要因は少ないため、台数・金額とも微減で推移していくものと予測される。

●電子辞書

2012年の国内市場は、スマートホンやタブレットの普及によりビジネスマンの電子辞書離れが進み、電子辞書の販売ターゲットは学生に限定されつつあることから、台数・金額とも減少すると見込まれる。

海外市場は、中国を含む東南アジアなどの新興国やヨーロッパの一部などの市場を中心に台数・金額とも増加傾向にあると見込まれる。特に中国は年間数百万台の市場規模を誇るが、現地、中国メーカーの販売量が圧倒的である。

2013年以降の国内市場は、ビジネスマン向けでの大幅な減少はスマートホンの普及率が高まったことで今後は歯止めがかかると期待されており、また学生向けでは、全国の高校生数は長期的には減少傾向にあるものの、ここ数年は減少に歯止めがかかっており、また高校生の電子辞書の保有率は7割以上で毎年一定の需要が期待できることから、数量・金額とも減少するものの、減少率は緩やかになっていくと予測される。

海外市場は、海外の現地メーカーの製品を中心に数量・金額とも増加傾向が続くが、日本メーカーについては現地メーカーにはない高機能・多機能を求めるユーザー需要を取り込むことで、現状並みの数量・金額を維持していくものと予測される。

⑤ECR/POS

2012年は、国内外とも景気の悪化による小売店の店舗数減少が要因で、国内市場、海外市場ともに台数・金額とも減少が見込まれる。

2013年は、国内市場で台数・金額とも減少、海外市場では新興国の成長が期待されるが、トータルでは台数・金額とも微減となると予測される。

2014年は国内市場では消費税率のアップにより、ECRの一次的な増加が寄与し、台数トータルでは増加するが、金額では微減、また、海外では増加要因がなく、台数で

横這い、金額で微減と予測される。

POS についてのユーザーの購入スタイルとしては、国内市場はリブレース時にはハード、ソフトとも入れ替えるが、海外市場ではソフト中心の入れ替えが多いなどの特徴がある。

⑥デジタル印刷機

2012 年の国内市場は、震災の影響により減少した 2011 年の反動により、台数では若干増加に転ずるが、金額は微減と見込まれる。

海外市場は、台数・金額とも減少が見込まれる。日本メーカー以外には、中国メーカーがあり、出荷台数は年間 3,000～4,000 台程度で増加している。

2013 年以降は、市場が飽和していることに加え、複写機のランニングコストが年々引き下げられてきたことで、ランニングコストが安いというデジタル印刷機の特徴が薄れ始めているため、国内市場、海外市場ともに台数・金額は減少傾向で推移していくと予測される。

⑦シュレッダ

2012 年の国内市場の大型機は、2011 年からの復興需要が続いたことに加え、2005 年の個人情報保護条例施行による特需時に設置した製品のリブレース需要が始まったことで、前年に引き続き大幅な増加し、小型機の市場は大幅に減少した前年の反動により、増加すると見込まれる。

2013 年以降は、大型機では 2012 年に続きリブレース需要が期待できるため、数量で年率 5～6%、金額で 2～3% 程度の増加が期待できるものの、小型機の市場は飽和気味であり、台数・金額とも増加率が落ちると予測される。また、大型機、小型機ともにメーカー間での競争が激化していく。

⑧電子黒板

2012 年の国内市場は、これまで事務所の新規設置などに伴い導入されるケースが多かったが、長引く景気停滞を背景に事務所の新規設置が少なくなっているため、台数・金額とも減少すると見込まれる。

海外市場も、中国を含むアジア圏が市場の中心であるが、2012 年前半の中国市場は景気の減速により予想以上に伸びず、後半は日本製品の買い控え等の影響を受け、減少すると見込まれる。

2013 年以降の国内市場は、景気の回復次第であるが、事務所の新規増加が期待されないため、微減で推移すると予測される。

海外市場は、競争力を持った有力海外メーカーが見当たらないため、中国市場での前年の減少からの回復が期待できるが、トータルでは微増から横這いで推移していくと予測される。

⑨タイムレコーダ

2012 年の国内市場は、復興需要により台数、金額とも大きく伸ばした 2011 年の反動の影響により若干の減少となると見込まれる。

海外市場は、カード印字方式タイムレコーダの世界最大の市場である中国において IC カード方式などの別方式が増えつつあり、カード印字方式は微減傾向になると見込まれる。

2013 年以降の国内市場は、景気好転の影響や労働契約法・高年齢者雇用安定法などの労働関連法律の改正ラッシュにより労働時間把握の重要性が高まり、ほぼ前年並みの需要となると予測される。大企業ではセキュリティの高度化に伴い IC 等での管理が主流になりつつあるが、中小規模の企業では依然としてカード印字式タイムレコーダが最も需要の高い製品である。

海外市場は、欧米（特に北米）の就労管理はタイムスタンプ方式が主流であり市場規模は小さいが、中国は上記の通り IC カード方式を採用する場合も増えつつある。さらに中国以外の新興国市場では就労管理をしない事業所も多く、また就労管理をする場合でも指紋認証などのシステム系を選択するケースが多い。海外市場は数量の増加要因が少なく、低価格化が進むため、数量・金額とも減少していくものと予測される。

<参考>

ドキュメントマネージメントシステム（DMS）

2012 年の国内市場は、全般的に情報系システムまで投資が回ってきておらず、本数では減少するが、金額では、大手企業を中心に案件規模が大型化の傾向にあり、微増が見込まれる。

2013 年以降は、規制に対応するためのドキュメント管理が依然として中心であるため、一定の規模は維持するものの、微増にとどまると予測される。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

広報担当事務局 森谷 英司、冠野 博信

調査統計担当事務局 岡野 聖史

（TEL：03-5472-1101、FAX：03-5472-2511）

事務機械の全世界出荷に関する見込み及び2013年・2014年予測

単位：百万円、台、%

品 目			平成24(2012)年見込				平成25(2013)年予測				平成26(2014)年予測			
			金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比
複写機・複合機	モノクロ複写機・複合機	国内	66,560	118.8%	156,000	98.2%	62,540	94.0%	148,000	94.9%	58,530	93.6%	140,000	94.6%
		海外	229,670	98.1%	2,490,300	113.7%	219,590	95.6%	2,581,100	103.6%	210,510	95.9%	2,631,900	102.0%
		合計	296,230	102.1%	2,646,300	112.7%	282,130	95.2%	2,729,100	103.1%	269,040	95.4%	2,771,900	101.6%
	カラー複写機・複合機	国内	256,000	103.7%	393,000	107.6%	262,000	102.3%	410,000	104.3%	267,000	101.9%	430,000	104.9%
		海外	302,000	94.0%	1,290,000	104.8%	310,000	102.6%	1,383,500	107.2%	320,000	103.2%	1,466,500	106.0%
		合計	558,000	98.2%	1,683,000	105.4%	572,000	102.5%	1,793,500	106.6%	587,000	102.6%	1,896,500	105.7%
	合計	国内	322,560	106.5%	549,000	104.7%	324,540	100.6%	558,000	101.6%	325,530	100.3%	570,000	102.2%
海外		531,670	95.7%	3,780,300	110.5%	529,590	99.6%	3,964,600	104.9%	530,510	100.2%	4,098,400	103.4%	
		合計	854,230	99.5%	4,329,300	109.7%	854,130	100.0%	4,522,600	104.5%	856,040	100.2%	4,668,400	103.2%
ページプリンタ	モノクロ機	国内	20,150	92.0%			19,750	98.0%			19,150	97.0%		
		海外	169,300	87.0%			153,000	90.4%			139,800	91.4%		
		合計	189,450	87.5%	16,512,000	88.0%	172,750	91.2%	15,358,400	93.0%	158,950	92.0%	14,497,000	94.4%
	カラー機	国内	12,210	96.7%			11,610	95.1%			11,010	94.8%		
		海外	72,100	91.7%			71,200	98.8%			69,900	98.2%		
		合計	84,310	92.4%	3,518,650	95.0%	82,810	98.2%	3,645,500	103.6%	80,910	97.7%	3,770,850	103.4%
	合計	国内	32,360	93.8%			31,360	96.9%			30,160	96.2%		
海外		241,400	88.4%			224,200	92.9%			209,700	93.5%			
		合計	273,760	89.0%	20,030,650	89.1%	255,560	93.4%	19,003,900	94.9%	239,860	93.9%	18,267,850	96.1%
データプロジェクタ		国内	13,880	85.7%	168,000	98.3%	13,570	97.8%	165,000	98.2%	13,360	98.5%	165,000	100.0%
		海外	230,500	92.1%	7,150,000	101.6%	234,000	101.5%	7,460,000	104.3%	237,000	101.3%	7,773,000	104.2%
		合計	244,380	91.8%	7,318,000	101.5%	247,570	101.3%	7,625,000	104.2%	250,360	101.1%	7,938,000	104.1%
電卓&電子辞書	電卓	国内	5,930	99.9%	5,970,000	99.9%	5,760	97.1%	5,800,000	97.2%	5,640	97.9%	5,685,000	98.0%
		海外	35,600	96.9%	74,985,000	97.7%	34,860	97.9%	73,959,000	98.6%	33,970	97.4%	72,991,000	98.7%
		合計	41,530	97.3%	80,955,000	97.9%	40,620	97.8%	79,759,000	98.5%	39,610	97.5%	78,676,000	98.6%
	電子辞書	国内	28,300	90.2%	1,685,000	90.0%	26,800	94.7%	1,601,000	95.0%	25,500	95.1%	1,520,000	94.9%
		海外	20,210	103.5%	5,945,000	105.3%	20,700	102.4%	6,175,000	103.9%	21,000	101.4%	6,395,000	103.6%
		合計	48,510	95.3%	7,630,000	101.5%	47,500	97.9%	7,776,000	101.9%	46,500	97.9%	7,915,000	101.8%
	合計	国内	34,230	91.8%	7,655,000	97.6%	32,560	95.1%	7,401,000	96.7%	31,140	95.6%	7,205,000	97.4%
海外		55,810	99.2%	80,930,000	98.3%	55,560	99.6%	80,134,000	99.0%	54,970	98.9%	79,386,000	99.1%	
		合計	90,040	96.2%	88,585,000	98.2%	88,120	97.9%	87,535,000	98.8%	86,110	97.7%	86,591,000	98.9%
ECR/POS (金銭登録機)		国内	52,800	93.7%	288,800	94.0%	50,300	95.3%	285,500	98.9%	47,700	94.8%	286,800	100.5%
		海外	174,000	98.2%	4,198,000	95.0%	172,300	99.0%	4,195,580	99.9%	171,000	99.2%	4,197,240	100.0%
		合計	226,800	97.1%	4,486,800	94.9%	222,600	98.1%	4,481,080	99.9%	218,700	98.2%	4,484,040	100.1%
デジタル印刷機		国内	9,400	97.3%	29,670	101.7%	9,200	97.9%	29,300	98.8%	9,000	97.8%	29,000	99.0%
		海外	8,900	94.2%	49,300	93.1%	8,550	96.1%	48,100	97.6%	8,200	95.9%	47,500	98.8%
		合計	18,300	95.8%	78,970	96.2%	17,750	97.0%	77,400	98.0%	17,200	96.9%	76,500	98.8%
シュレッダ	大型機	国内	7,600	106.5%	155,240	109.1%	7,820	102.9%	164,500	106.0%	7,970	101.9%	172,700	105.0%
	小型機	国内	1,700	104.3%	360,000	107.1%	1,720	101.2%	370,000	102.8%	1,730	100.6%	380,000	102.7%
	合計	9,300	106.1%	515,240	107.7%	9,540	102.6%	534,500	103.7%	9,700	101.7%	552,700	103.4%	
電子黒板		国内	1,630	88.4%	17,900	90.1%	1,510	92.6%	17,600	98.3%	1,440	95.4%	17,200	97.7%
		海外	1,290	77.2%	24,000	82.1%	1,290	100.0%	24,500	102.1%	1,290	100.0%	24,600	100.4%
		合計	2,920	83.1%	41,900	85.3%	2,800	95.9%	42,100	100.5%	2,730	97.5%	41,800	99.3%
タイムレコーダ		国内	1,832	94.7%	92,500	98.2%	1,800	98.3%	92,500	100.0%	1,780	98.9%	92,500	100.0%
		海外	260	79.3%	23,000	75.9%	250	96.2%	23,000	100.0%	240	96.0%	22,000	95.7%
		合計	2,092	92.4%	115,500	92.8%	2,050	98.0%	115,500	100.0%	2,020	98.5%	114,500	99.1%
総合計		国内	477,992	101.8%			474,380	99.2%			469,810	99.0%		
		海外	1,243,830	94.0%			1,225,740	98.5%			1,212,910	99.0%		
		合計	1,721,822	96.0%			1,700,120	98.7%			1,682,720	99.0%		

＜参考＞

単位：百万円、本、%

品 目		平成24(2012)年見込				平成25(2013)年予測				平成26(2014)年予測			
		金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比	金額	前年比	台数	前年比
ドキュメントマネージメントシステム	国内	49,238	103.7%	1,048,661	99.8%	50,478	102.5%	1,084,116	103.4%	52,020	103.1%	1,130,363	104.3%

※ドキュメントマネージメントシステム(DMS)には、ドキュメントマネージメントにかかわるソフトウェア製品であり、ハードウェアや役務を含まない。